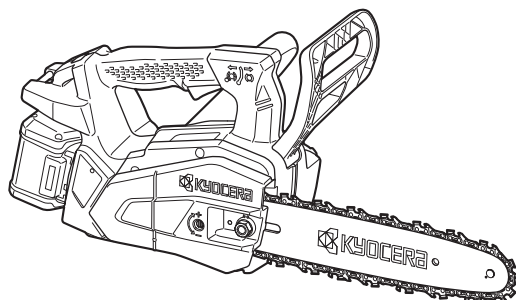


充電式チェーンソー

DCS3620TL2

DCS3620T（本体のみ仕様）



※ DCS3620T（本体のみ仕様）には
充電器・電池パックは付属して
おりません。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただき
ありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよく
お読みいただき、使用上の注意事項、本機
の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、
正しく安全にご使用くださるようお願いい
たします。また、この取扱説明書は大切に
お手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
危険表示・警告表示・注意表示について	1
絵表示について	1
充電式チェーンソーご使用に際して	10
注意ラベルについて	15
梱包明細	16
各部の名称・用途	17
仕様	18
別販売品	19
準備	20
充電について	20
組立	25
ご使用前の準備	29
ご使用前の点検	30
使い方	32
ソーチェーンの張り調整	32
スイッチの扱い方	34
電池パックの取付け、取外し	35
チェーンオイルについて	36
オイル吐出量調整	36
チェンブレイキについて	37
吊り下げバーの使い方	38
スパイク（別販売品）について	38
切断作業	39
保護機能について	45
保守と点検	46
ソーチェーンの目立て	46
ソーチェーンの交換	47
各部取付けネジの点検	49
使用後の手入れ	49
作業後の保管	50
修理について	50
故障かなと思ったら	51
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」と「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■危険表示・警告表示・注意表示について

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危 険	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 警 告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注 意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠ 危険」・「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意	回転部注意	

⚠ 危 険

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは火への投入、加熱をしないでください。



禁止

電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

- ・ 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- ・ 電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



禁止

電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。

- ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

- ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが破損したり、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

作業場の環境について



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。



必ず守る

・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。



禁止

・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

作業者に
関する
安全
事項



必ず守る

不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。



感電注意

感電に注意してください。

・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



必ず守る

保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



必ず守る

防音保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。

・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

⚠ 警 告

工具の使用と手入れ



必ず守る

次の場合は充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。



禁止

指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

正しく充電してください。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・ 周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグを抜く

- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。

- ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



必ず守る

電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。

- ・ 失明のおそれがあります。



禁止

使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。



禁止

電池パックを電子レンジに入れしないでください。

- ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

ご使用済の電池パックは、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。

- ・ 棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。



禁止

電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気が付いたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。



必ず守る

電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

- ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注 意

作業場の環境について



必ず守る

作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。



禁止

子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 注 意

電 気 に 関 す る 安 全 事 項



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

作 業 者 に 関 す る 安 全 事 項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止



必ず守る

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止

安全上のご注意

⚠ 注 意

作
業
者
に
関
す
る
安
全
事
項



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



禁止

きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。



必ず守る

・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



禁止

作業に合った充電工具を使用してください。

・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。

・指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

工
具
の
使
用
と
手
入
れ



必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



よく読む

・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

⚠ 注 意

工具の使用と手入れ



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
- ・ 充電工具や電池パックを、温度が 45℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。



禁止



必ず守る

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。



よく読む



点検・確認

電池パック・充電器に関する安全事項



必ず守る

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- ・ 皮膚がかぶれたりするおそれがあります。



必ず守る

電池パックは出荷前に若干量の充電をしてありますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。



必ず守る

電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。

- ・ 充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。



禁止

電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。

- ・ 保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意

修理とメンテナンス



分解禁止



必ず守る



禁止

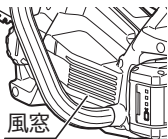
充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

■充電式チェーンソーご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式チェーンソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警 告

作業の前に	 点検・確認 作業する箇所に電線などがないことを作業前に確認してください。 ・電線などがあると、ソーチェーンが触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。
	 必ず守る 風窓部に木屑などが詰まっていないことを確認してください。 ・木屑などが詰まっていると故障の原因になりますので清掃をしてください。 
安全作業のため	 必ず守る チェーンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。 ・感電のおそれがあります。
	 必ず守る 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。 ・本体がはね返り、けがの原因になります。
	 必ず守る 高所（高さが2 mを超える箇所）で作業を行なうときは、高所作業用の機器を使用して安定した足場を確保し、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定してください。 はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。 ・けがや事故の原因になります。
	 必ず守る 高所作業時は、両手でハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業をしてください。片手持ち作業、腕を伸ばしての作業は行なわないでください。 作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業を行なわないでください。 ・けがの原因になります。  禁止

安全上のご注意

⚠ 警 告

安
全
作
業
の
た
め
に



禁止

使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。

・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。



禁止

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。

また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

・ 本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。



必ず守る



必ず守る

使用中は、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。

・ けがの原因になります。



回転部注意



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落したり、ぶつけたときは、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。



必ず守る

（事業者の方へ）

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業、または高さが2m以上の箇所で墜落制止用器具フルハーネス型のものを用いて行なう作業を行なう場合は、規制で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令

労働安全衛生法

第59条第3項

労働安全衛生規則

第36条第8号及び第41条

安全衛生特別教育規程

第10条及び第24条

⚠ 警 告

電池パック・充電器に関して



禁止

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

⚠ 注 意

作業の前に



よく読む

工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

- ・ 誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意

安全作業の
ための
注意



必ず守る

保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- ・ そで口をきちんと閉めた作業服、チェーンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
- ・ ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
- ・ 足元保護のために滑りにくい安全靴。
- ・ 保護めがねまたはフェイスガード。
- ・ 巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。



必ず守る

使用しないときは、ガイドバーにチェンカバーをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、子どもの手の届かない所に保管してください。

- ・ けがの原因になります。



点検・確認

スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

- ・ 本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



点検・確認

材料に石、釘などの異物が入っていないことを確認してください。

- ・ ソーチェンが石などに当たると、けがの原因になります。



切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

- ・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。



禁止

本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

作業中は、風窓を地面に近づけないでください。また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。

- ・ 風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

業務でチェーンソーを使用する場合のご注意

2019年8月1日以降、チェーンソーを使用して伐木作業などをする場合、チェーンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。

- ・ 業種にかかわらず、チェーンソーを使用して伐木作業などを行なう場合は対象となります。
- ・ チェーンソー用下肢防護衣は、JIS T8125-2 または同等の規格に適合したものを着用ください。
- ＊詳細は、厚生労働省から 2019 年 2 月 14 日に公布された文書（基発 0214 第 9 号）をインターネットで検索し、ご覧ください。

業務ではなく個人で使用する場合は、チェーンソー用下肢防護衣の着用は義務付けられていませんが、安全に作業するため、着用をお勧めいたします。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちくださるようお願いいたします。



注 意



必ず守る

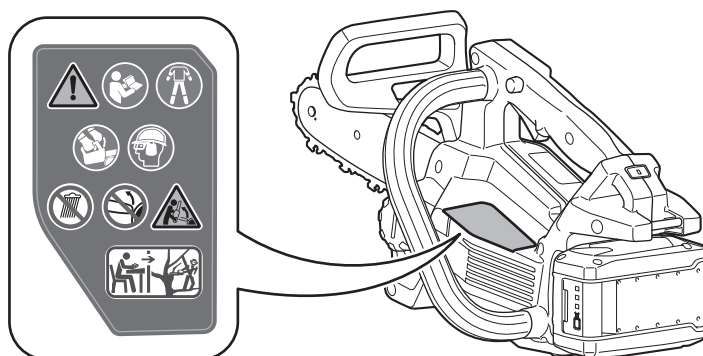
不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

安全上のご注意

■注意ラベルについて

本機に次の注意ラベルが貼付けてあります。注意ラベルの意味をよく理解したうえで作業してください。

(貼付け位置)



(マーク説明)

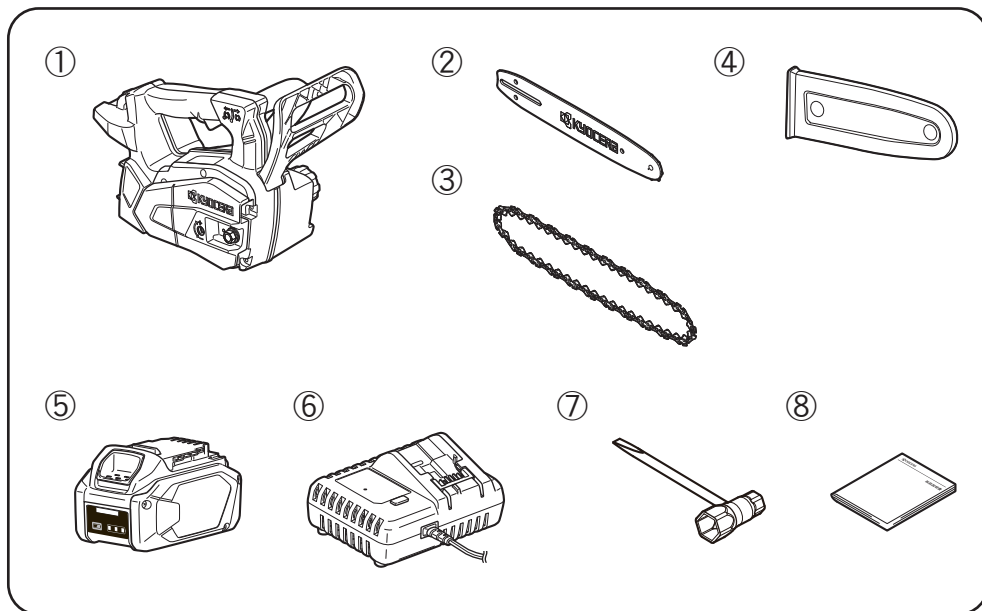
	取扱説明書または本機に表示の危険・警告・注意などに従って安全に使用すること		使用前に取扱説明書をよく読むこと
	雨中で使用したり、湿ったまたはぬれた場所で使用しないこと		作業中は、保護メガネ、イヤマフ、ヘルメットを必ず着用すること
	ハンドルは両手で確実に保持すること		キックバックのおそれがあるため、ガイドバー先端部をものに当てないこと
	防振性のよい手袋、安全靴、腕や脚の切創防止用保護具などを着用すること		キックバックに注意すること
	樹上および高所（2 m以上の箇所）で作業する場合は、作業前に専門の訓練を受けてから作業すること		

(取扱い)

- ・ 注意ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ 注意ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・ 注意ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ注意ラベルを貼ってください。

梱包明細

■ 梱包明細

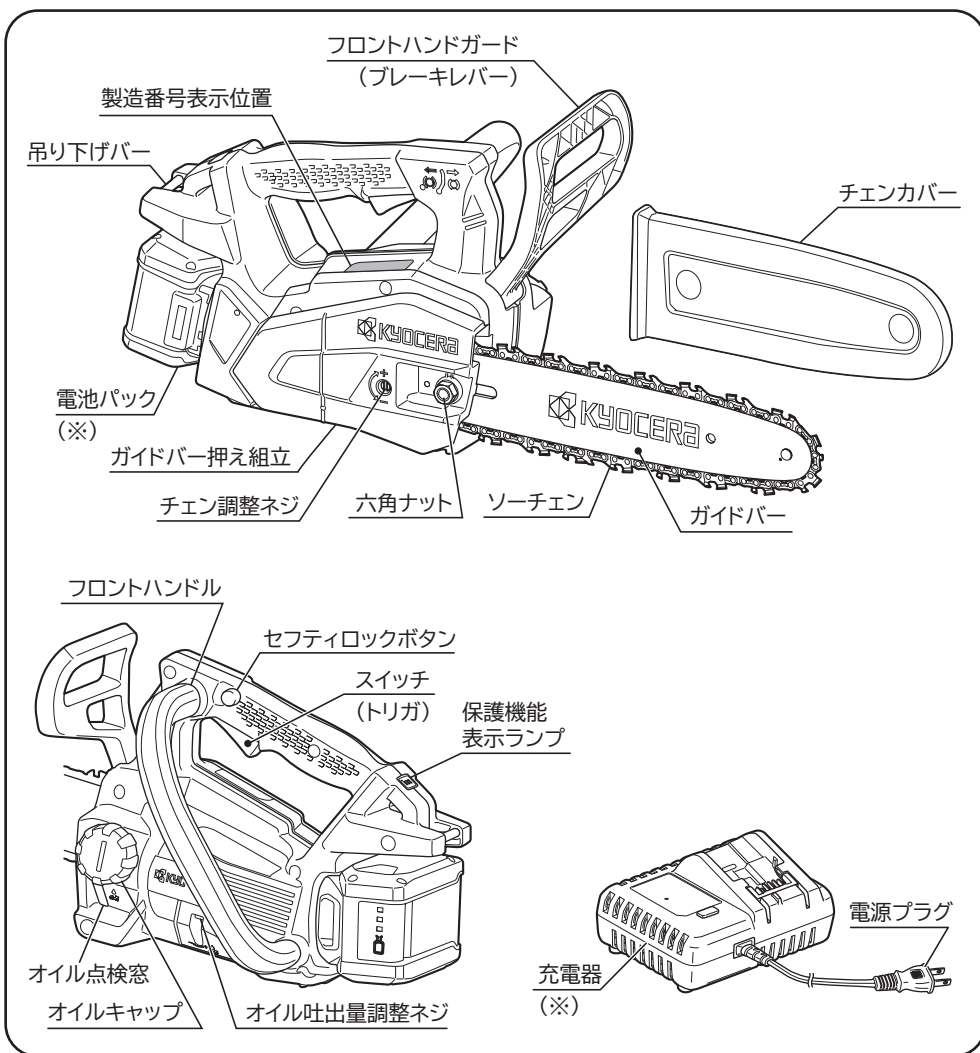


No.	名 称	数量	No.	名 称	数量
①	本体	1	⑤	電池パック DB3625L (※)	1
②	ガイドバー	1	⑥	充電器 UBC1804L (※)	1
③	ソーチェン	1	⑦	⊖ドライバー付ソケット	1
④	チェンカバー	1	⑧	取扱説明書（本書）	1

(※) 本体のみ仕様には充電器・電池パックは付属していません。

各部の名称・用途

■各部の名称



(※) 本体のみ仕様には充電器・電池パックは付属しておりません。

■用途

- 枝打ち、木材の切断、丸太の切断



竹、細い木、柔らかい立木などは切れない、または切れにくい場合があります。

仕様

■仕様

●本体

チェンスピード	27 m/s
有効切断長さ	244 mm
ソーチェン	80TXL-46E（ピッチ 0.325”）
電源	DC 36V（リチウムイオン）
本体寸法（長さ×幅×高さ）※1	511 × 200 × 213 mm
質量※1	3.1 kg
振動 3 軸合成値※2 IEC62841-4-1 に基づき測定	2.5 m/s ² 以下

※1 ガイドバー、ソーチェン、電池パック（DB3625L）取付時の値です。

※2 『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

●電池パック（DB3625L）

電圧※3	DC 36V / 18 V
電池	リチウムイオン電池
容量※3	2,500 mAh（36V） ／ 5,000 mAh（18V）
質量	0.74 kg

●充電器（UBC1804L）

電源		AC 100V 50/60 Hz
定格出力電圧		DC 10.8-18.5V
充電時間※4	80%充電 (実用充電) ※5	46 分
	満充電	54 分
質量		0.63kg

※3 36V, 18V どちらの工具でもご使用いただけます。

使用可能な商品については、各商品の取扱説明書をご確認ください。

工具本体により自動で 36V 2,500 mAh / 18V 5,000 mAh に切り替わります。

※4 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※5 80% 充電（実用充電）は、満充電の 80% の充電状態です。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●1 充電あたりの作業量（目安）（周囲温度 20℃）

※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。

電池パックの電池容量および、材質、ソーチェンの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

（2,500mAh 電池パック使用時）

材 料	切断量
杉（角） 40mm x 40mm	約 430 本

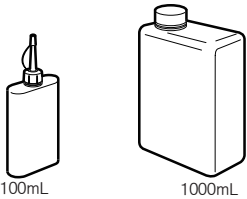
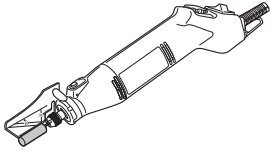
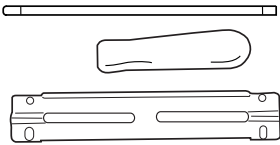
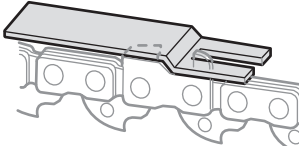
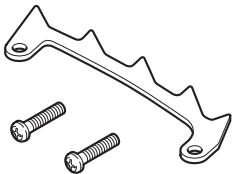
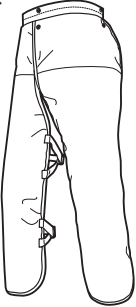
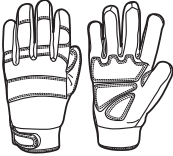
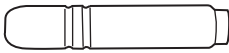


休みなく連続で使用するなど、使用方法によっては温度保護機能が作動し、上表の切断量よりも早く本機が停止することがあります。

保護機能については、45 ページ『■保護機能について』を参照してください。

別販売品

■別販売品

電池パック・充電器 23 ページ『●電池パック・充電器について』参照	チェンオイル  100mL 1000mL	チェンソーシャープナー  ソーチェーンの目立てが簡単にできます。
ヤスリホルダーセット (丸ヤスリ 150x4mm、ヤスリ柄、ヤスリホルダー)  ソーチェーン目立専用のヤスリです。	デプスゲージジョインター  ソーチェーンの目立てをするとき、デプスゲージの調整に使用します。	スパイク (ネジ2本付) 
チャップス  業務でチェンソーを使用する場合はチェンソー用下肢防護衣(防護ズボンなど)の着用が義務付けられています。	グローブ 	平ヤスリ  ソーチェーン目立専用のヤスリです。
	丸ヤスリ (150 × 4mm) 	ヤスリ柄 (丸ヤスリ用) 



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ 別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



準備

■充電について

⚠ 危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグ
を抜く

- ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

準備

⚠ 注 意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

● 充電方法

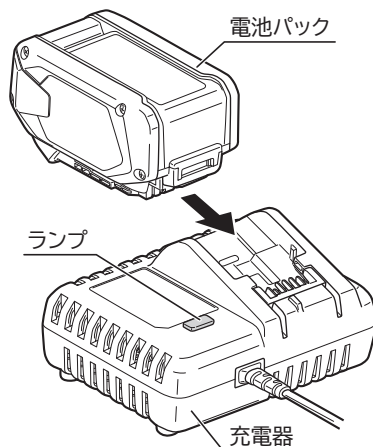
- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。充電状態は充電器のランプで表示しています。(22 ページ表 1 参照)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。また、適切なランプ表示にならない場合があります。

3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が 0℃～40℃の間で充電できますが、電池パックの温度が 10℃以下の場合には充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

充電器（UBC1804L）ランプ表示

表 1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯 	充電している状態。
80%充電	赤	点 滅 	80%充電完了した状態。
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅 (交互) 	充電できない状態。 ・電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

- ・購入後、初めての使用時や長期保管後の電池パックは、充電時間が長くなる場合があります。
- ・電池パックの取付けが不十分な場合、適切なランプ表示にならない場合があります。

準備

●電池パック・充電器について

- ・本機に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は、表2の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表2をご確認ください。

表2

充電器 \ 電池パック			リチウムイオン電池
			DB3625L ※4 2,500 mAh (36V) 5,000 mAh (18V)
充電時間 ※1	UBC1804L	80%充電 ※3 (実用充電)	46 分
		満充電	54 分
	UBC-1803L ※2		250 分
	UBC-1802L ※2		84 分
	BC-1800L	80%充電 ※3 (実用充電)	25 分
		満充電	37 分

※1 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 充電器 UBC-1803L, UBC-1802L は、満充電時の時間です。

※3 80% 充電 (実用充電) は、満充電の 80% の充電状態です。

※4 **DP VOLT** (デュアルパワーボルト) の電池パックです。

工具本体により自動で 36V 2,500mAh / 18V 5,000mAh に切り替わります。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

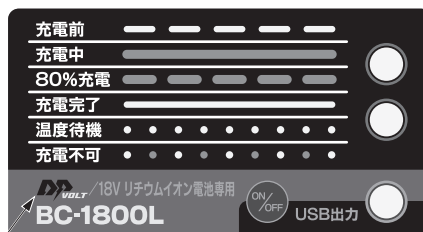
BC-1800L 充電器で充電する場合

右図の位置に **DP VOLT** の表記がない BC-1800L 充電器で **DP VOLT** (デュアルパワーボルト) の電池パックを充電する場合、充電が完了してもランプ表示(LED) が 80% 充電の表示のまま充電完了表示に切り替わらないことがあります。



充電を開始し、45 分以上経過しても充電完了表示に切り替わらない場合は、電池パックを一度抜いて、再度挿入してください。

充電が完了している場合は、充電完了の表示に切り替わります。



●電池パックの保管について

⚠ 注 意



禁止



必ず守る

- ・電池残容量が少ない状態で放置しないでください。(電池パックの電池残容量表示ランプが1個点灯の場合、充電してください。)
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合は、満充電にして保管ください。
- ・電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

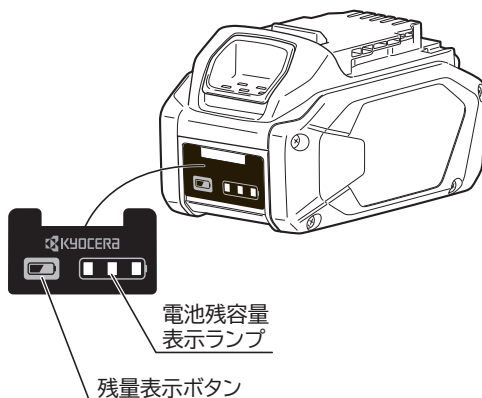
●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合は、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

●電池残容量の確認

- ・電池パックの残量表示ボタンを押すと、電池残容量表示ランプが約6秒間点灯します。ランプの点灯により電池の残容量を確認することができます。ランプの表示内容は下表の通りです。

ランプ表示	電池状態
■■■ 3個点灯	満充電の状態
■■□ 2個点灯	まだ半分使用できます
■□□ 1個点灯	充電をおすすめします



準備

■組立

⚠ 警告



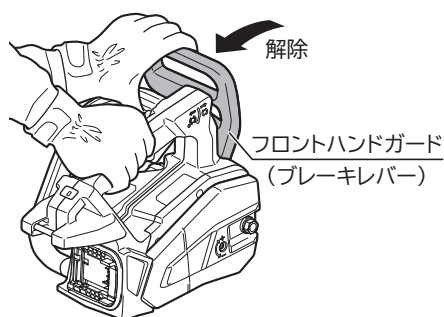
必ず守る

- ・組立前にスイッチが切れていること、本体から電池パックが取外してあることを確認してください。
- ・ソーチェンの取付け、ソーチェンの張り調整のときは、必ず手袋を着用して行なってください。けがの原因になります。

※ 工場出荷時は、ガイドバー、ソーチェンは取外しています。
はじめて使用するときには、以下の要領で取付けてください。

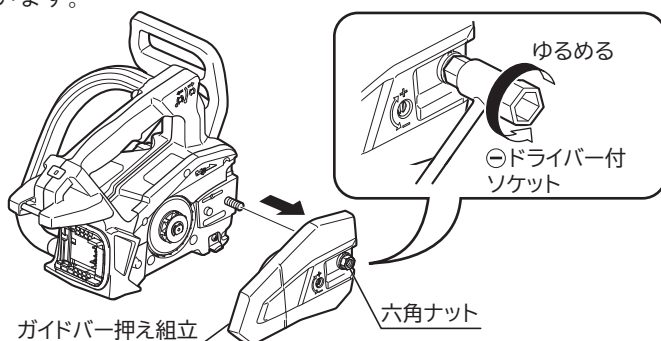
●ガイドバー、ソーチェンの取付け

1. フロントハンドガード（ブレーキレバー）を手前に引いて、チェンブレーキが解除されていることを確認します。



2. 付属の⊖ドライバー付ソケットで六角ナットを回してゆるめ、ガイドバー押え組立を取外します。

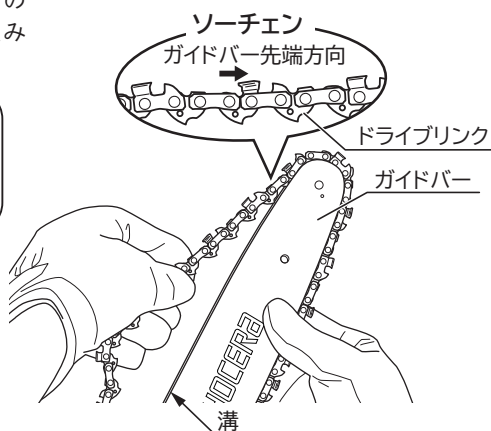
※ 六角ナットはガイドバー押え組立から外れないようになっています。



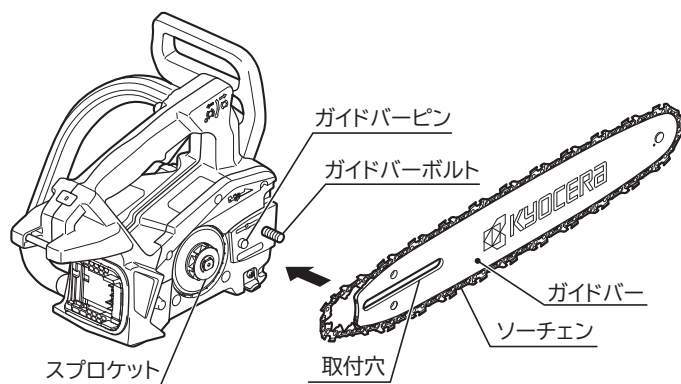
3. ガイドバーの溝にそって、ソーチェンの
ドライプリングをガイドバーにはめ込み
ます。



ソーチェンの刃の向きに注意
してください。
逆に取付けると、切斷できま
せん。

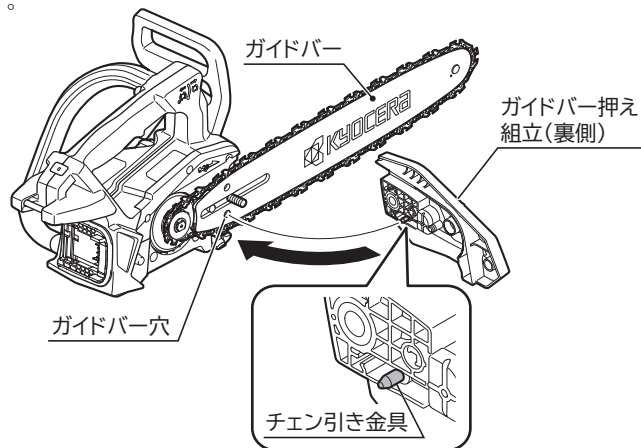


4. ソーチェン（ドライプリング）をスプロケットにかみ合わせ、ガイドバーを本体に
取付けます。
その際、ガイドバーの取付穴にガイドバーピン、ガイドバーボルトを合わせて取付
けてください。

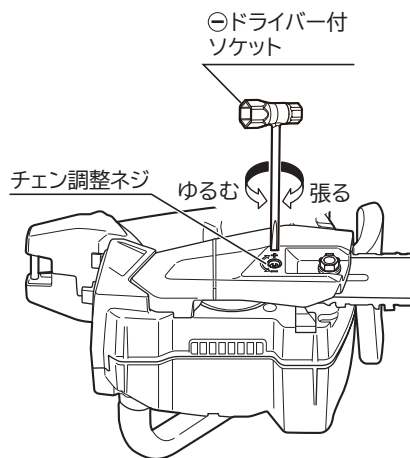


準備

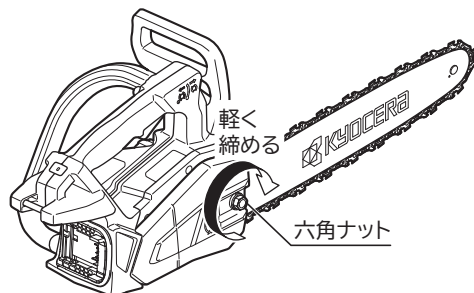
5. ガイドバー押え組立のチェン引き金具をガイドバーの穴に入れてガイドバー押え組立を取付けます。



- ※ チェン引き金具が入らないときは、
⊖ドライバー付ソケットでチェン調整ネジを右（張る）または左（ゆるむ）に回して調整してください。

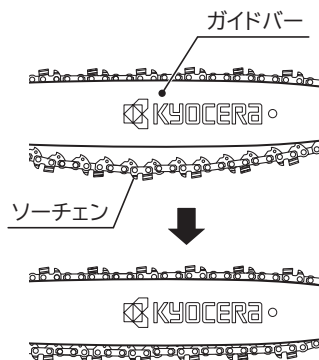
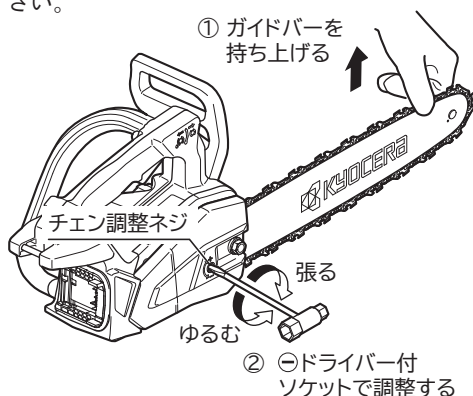


6. 六角ナットを軽く締めてください。
（チェン引き金具が外れずガイドバーが動く程度）



7. ソーチェーンの張り調整をします。

ガイドバーの先端を持ち上げたまま、⊖ドライバー付ソケットでチェーン調整ネジを右（張る）方向に回し、ソーチェーンがガイドバー下側に接触する程度に調整してください。

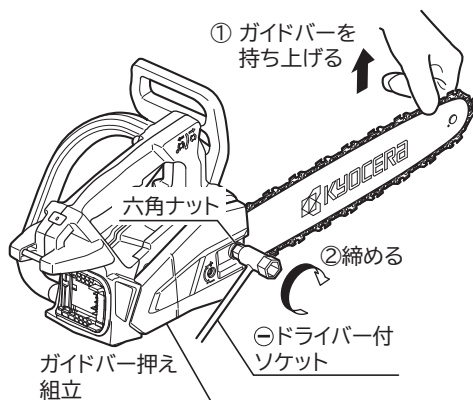


チェーン引き金具がガイドバーの穴に適正に取付けない場合は、チェーン調整ネジを回してもソーチェーンは張れません。

8. ソーチェーンの張り調整が終わりましたら、ガイドバーの先端を持ち上げながら、⊖ドライバー付ソケットで六角ナットを矢印（締める）方向に回してしっかり固定してください。



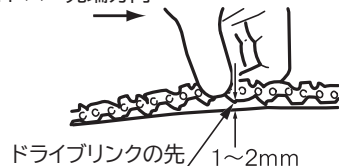
調整後は、六角ナットが十分締まっていることを確認してください。ガイドバー押え組立が本体に確実に取付いていない場合は、六角ナットを締付けたときソーチェーンが異常に張るおそれがあります。



適切なソーチェーンの張り具合について

- ・ ガイドバーの中ほどで、ソーチェーンを軽く指でつまんで本体が浮かない程度に引上げてください。このとき、ドライプリングの先からガイドバーまでが1～2mm離れていれば適切な状態です。
- ・ 調整方法の詳細は、32～33 ページ『■ソーチェーンの張り調整』を参照ください。

ガイドバー先端方向



準備

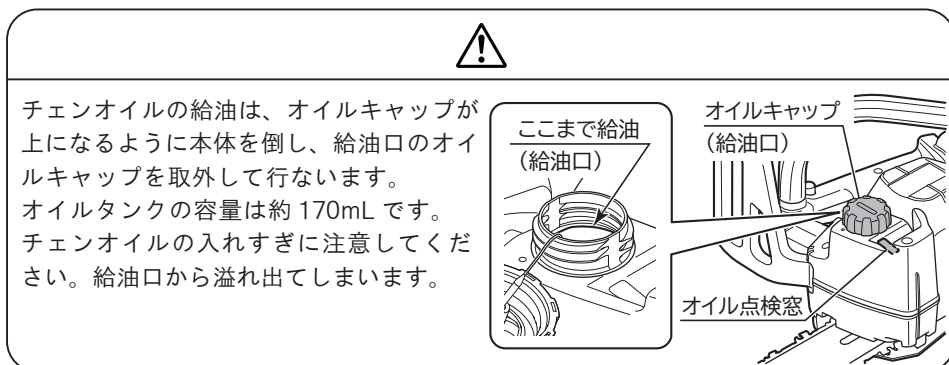
■ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業場所および作業周辺の状況を確認し、事故や故障の原因になるものがある場合は、取り除いてください。

●チェーンオイルの給油

- ・本機は検査後、チェーンオイルを抜いて出荷しています。
ご使用前に必ずオイルキャップを取外し、オイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
- ※ チェンオイルは付属しておりません。別販売品のチェーンオイルまたは市販のチェーンオイルを使用してください。



(36 ページ『■チェーンオイルについて』参照)

■ ご使用前の点検

⚠ 警 告

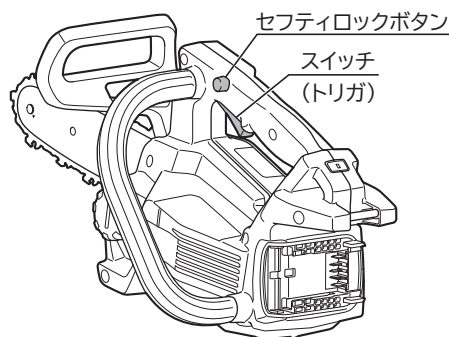


必ず守る

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～③項については、電池パックを取外した状態で確認してください。
- ・ ソーチェンの張り、チェンブレイキの作動確認をするときは、必ず手袋を着用して行なってください。けがの原因になります。

① スイッチ操作

- ・ スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガから指を放すと切れます。トリガを放したときに、トリガが戻ることを必ず確認してください。

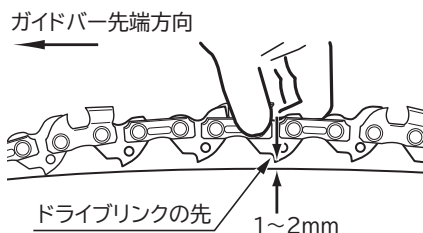


② ソーチェンの張り具合

- ・ ソーチェンが適切に張られていないと、ソーチェンやガイドバーを傷め、故障の原因になります。

確認方法はガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライブリンクの先がガイドバーから1～2mm 離れる程度が最適です。

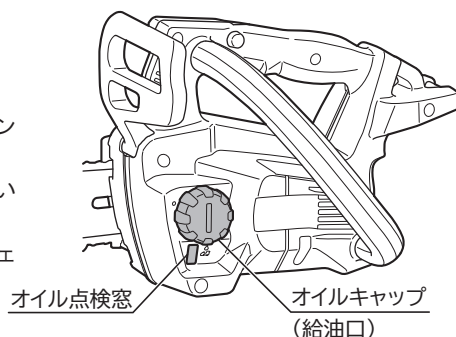
調整が必要な場合は、32～33ページ『■ソーチェンの張り調整』の要領で行なってください。



③ チェンオイル

- ・ オイル点検窓にてオイルタンク内のチェンオイルの量を確認してください。オイル点検窓からチェンオイルが見えない時は、補充してください。

（チェンオイルの補充は、36 ページ『■チェンオイルについて』を参照ください）



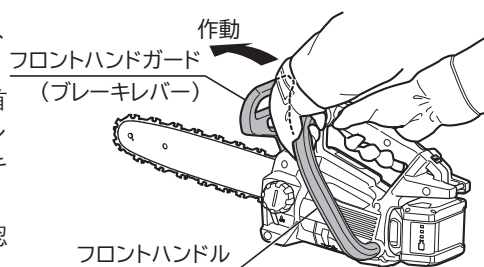
準備

④ 電池パックの取付け

- ・電池パックを確実に取付けてください。
(35 ページ『■電池パックの取付け、取外し』参照)

⑤ チェンブレーキの作動

1. ハンドルを両手で持ち、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引いて、スイッチを入れてください。
2. フロントハンドルを持ったままの左手首でフロントハンドガード（ブレーキレバー）を前方に押して、チェンブレーキを作動させてください。
3. ソーチェンが瞬時に停止することを確認してください。
4. スイッチから手を放してください。
5. フロントハンドガード（ブレーキレバー）を手前に引き戻して、チェンブレーキを解除してください。

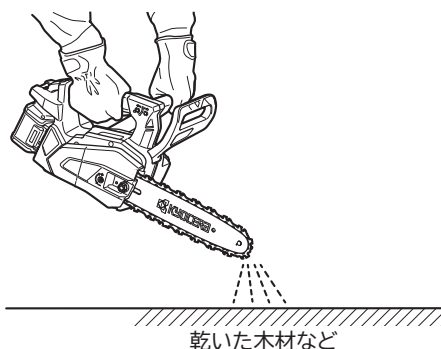


※ ソーチェンが瞬時に停止しない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

(37 ページ『■チェンブレーキについて』参照)

⑥ オイルの吐出

- ・スイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的にチェンオイルが給油されます。2～3 分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。
(確認方法：48 ページ（ソーチェンの取外し）参照)



使い方

■ソーチェンの張り調整

⚠ 警告



必ず守る

ソーチェンの張り調整のときは、スイッチを切り、本体から電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

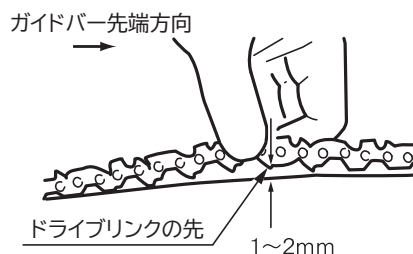


必ず守る

ソーチェンの張り調整のときは、必ず手袋を着用して行なってください。けがの原因になります。

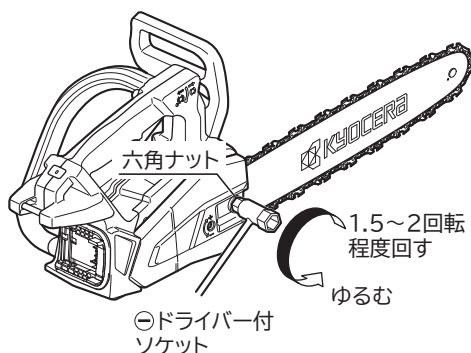
適切なソーチェンの張り具合について

- ・ガイドバーの中ほどで、ソーチェンを軽く指でつまんで本体が浮かない程度に引上げてください。このとき、ドライブリンクの先からガイドバーまでが1～2mm離れていれば適切な状態です。
- ・調整する場合は下記の要領で行なってください。



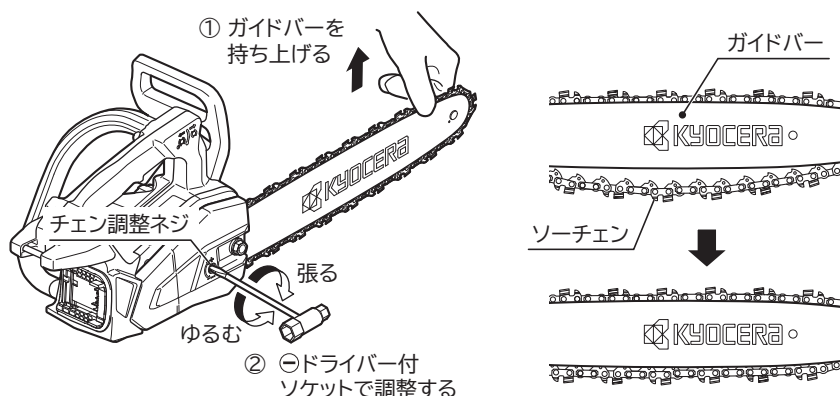
(調整方法)

1. ⊖ドライバー付ソケットで六角ナットを1.5～2回転程度、矢印（ゆるむ）方向に回します。



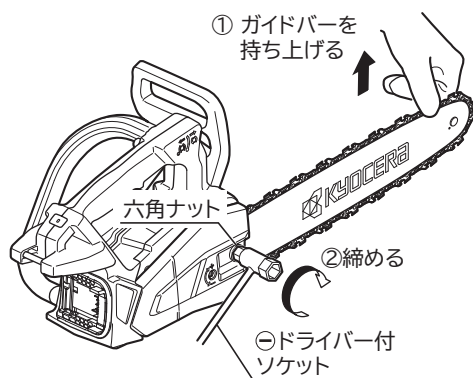
使い方

2. ガイドバーの先端を持ち上げたまま、⊖ドライバー付ソケットでチェン調整ネジを右（張る）方向に回し、ソーチェンがガイドバー下側に接触する程度に調整してください。



- ・ 張り過ぎたときは、一度ゆるめてから再度調整してください。
- ・ ゆるめるときは、ソーチェンを軽く引上げながら矢印（ゆるむ）方向に回してゆるめてください。

3. ガイドバーを上を持ち上げながら、⊖ドライバー付ソケットで六角ナットを矢印（締める）方向に回してしっかり固定してください。



- ・ 調整後は、ガイドバーが確実に固定されていることを確認してください。
- ・ 六角ナットを締付けたら、ソーチェンの張りが強くなりますので、適正な張り調整を行なってください。
- ・ 新品のソーチェンは多少の初期伸びがあります。少し使用した後に、再度点検を行なってください。その際は、必ず電池パックを取外して調整を行なってください。

■スイッチの扱い方

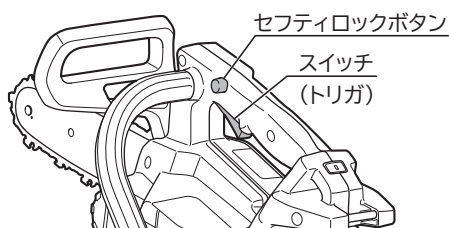
警 告



必ず守る

- ・スイッチ（トリガ）に指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・スイッチは、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引くと入ります。トリガから指を放すと切れます。



保護機能が働いた直後にスイッチを入れても、本体が動かない場合がありますが、異常ではありません。

使い方

■ 電池パックの取付け、取外し

⚠ 注 意

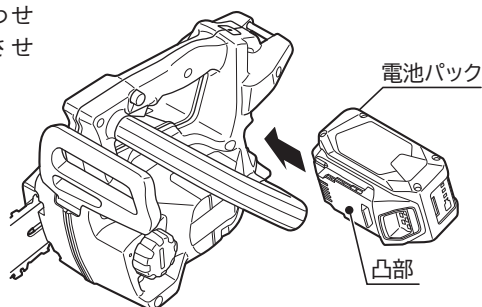


必ず守る

- ・ 必ずスイッチ（トリガ）から手を放してから電池パックを取付けてください。

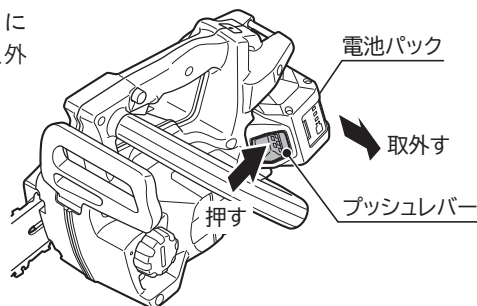
（取付け）

- ・ 本体内部の溝に電池パックの凸部を合わせ矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ確実にさし込んでください。



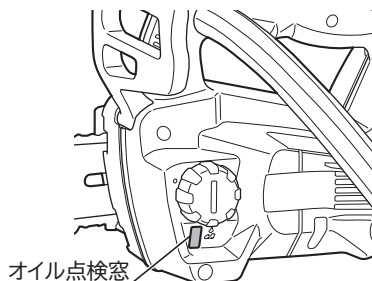
（取外し）

- ・ プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



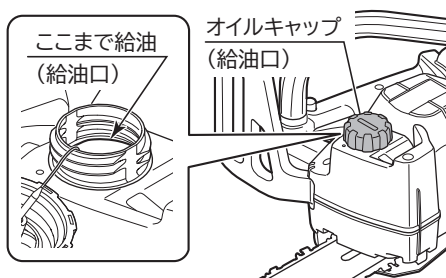
■ チェンオイルについて

- ・ チェンオイルはスイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的に給油されます。
- ・ 作業中は時々オイル点検窓からチェンオイルの量を確認してください。オイル点検窓からオイルが見えない場合は、補充してください。



チェンオイルの補充は、オイルキャップが上になるように本体を倒し、給油口のオイルキャップを外して行ないます。

オイルタンクの容量は約170mLです。チェンオイルの入れすぎに注意してください。給油口から溢れ出てしまいます。



- ・ チェンオイルは付属しておりません。別販売品のチェンオイルまたは市販のチェンオイルを使用してください。

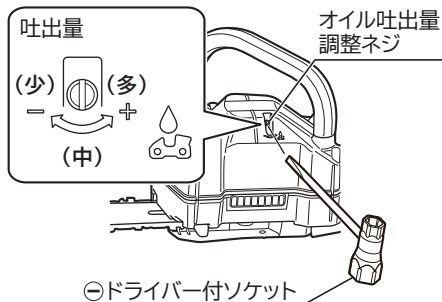


- ・ オイルタンク、チェンオイルにゴミなどが入らないように気をつけてください。ゴミなどの異物が入ると、故障の原因になります。
- ・ オイルの種類によっては、プラスチック製の部品に悪影響をおよぼすことがあります。必ず、指定のオイルを使用してください。

■ オイル吐出量調整

- ・ チェンオイルの吐出量は本体横側にあるオイル吐出量調整ネジを付属の⊖ドライバー付ソケットで調整します。右図のように3段階に調整できます。

※ 出荷時、吐出量調整ネジは（中）の位置になっています。



使い方

■チェンブレーキについて

⚠ 警 告



必ず守る

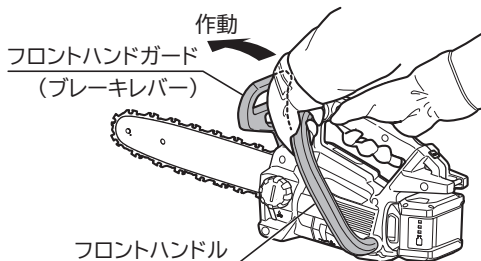
- ・ガソリンの近くやガソリンの臭気がある場所で、チェンブレーキの確認をしないでください。チェンブレーキの過熱による引火のおそれがあります。
- ・チェンブレーキは必要のないときに使用しないでください。
- ・ブレーキバンドにゴミ、グリース、オイルなどが入り込むと、チェンブレーキの作動が悪くなることがあります。いつもきれいに清掃してください。(49 ページ『●ガイドバー、ブレーキバンドの清掃』参照)

チェンブレーキはキックバック（はね返り）が発生した場合、瞬時にソーチェンの回転を停止させ危険を減少させるための装置です。

チェンブレーキがあってもキックバックが起こらないように注意して操作を行なってください。

●チェンブレーキの作動

- ・フロントハンドガードを前方に倒すとチェンブレーキが作動します。
- ・キックバックが発生した際は、フロントハンドルを握っている手の甲がフロントハンドガードに当たることで、前方に倒れます。この際、瞬時にソーチェンの回転が停止します。

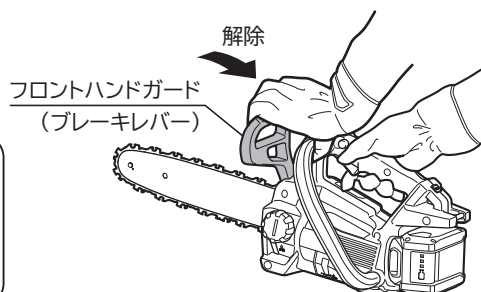


●チェンブレーキの解除

- ・チェンブレーキを解除するには、スイッチから手を放して、スイッチが切れた状態でフロントハンドガードを手前に音がするまで引き戻します。



フロントハンドガードがしっかりと引き戻されていることを確認してください。引き戻していないとブレーキが解除されず、ソーチェンは回転しません。



通常の使用および整備が適切であっても、チェンブレーキが正常に作動しないことがありますので、次のような状態で使用しないでください。

- ① チェンソーを身体に近すぎる位置で持った状態
- ② フロントハンドルを握った左手が、フロントハンドガードに接触する位置にない状態
- ③ ブレーキバンドにゴミ、グリース、オイルなどが入り込んだ状態

■吊り下げバーの使い方

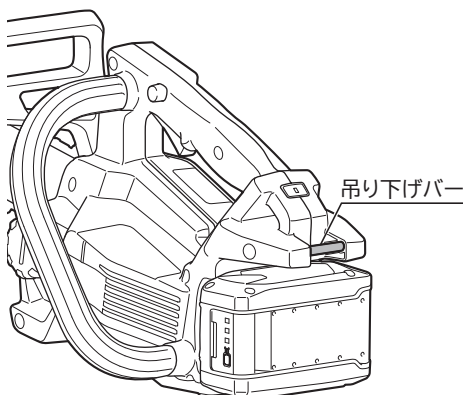
⚠ 警 告



必ず守る

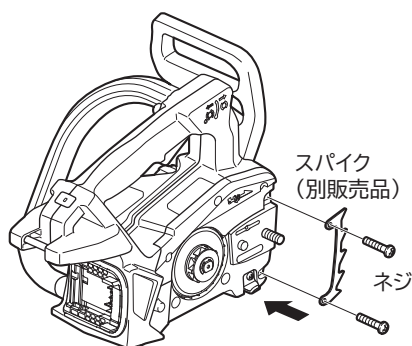
- ・吊り下げバーを使用するときは、本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
本体が落下すると、事故のおそれがあります。

- ・吊り下げバーにロープ等を結べば、本体を吊り下げることができます。



■スパイク（別販売品）の取付け

- ・スパイクを取付けるときは、47 ページ「■ソーチェンの交換」を参照し、ガイドバー押え組立、ソーチェン、ガイドバーを取外してから、スパイク（別販売品）に同梱しているネジ（2本）で取付けてください。



使い方

■切断作業

警 告



必ず守る

- ・使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。本体がはね返り、けがの原因となります。



必ず守る

- ・ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。



必ず守る

- ・使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。



回転部注意



禁止

- ・使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

注 意



点検・確認

- ・スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



必ず守る

- ・切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。



必ず守る

- ・切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ガイドバーがはさみつけられるとけがの原因になります。



回転部注意

- ・使用中、ソーチェンが別の材料や他のものに触れないように注意してください。とくに、切り終わりのとき、地面に接触しないように注意してください。

⚠ 注 意



必ず守る

- ・ 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。
- ・ そで口をきちんと閉めた作業服、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
- ・ ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
- ・ 足元保護のために滑りにくい安全靴。
- ・ 保護めがねまたはフェイスガード。
- ・ 巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。

※ 労働安全衛生規則が改正され、2019年8月1日以降、業務でチェンソーを使用する作業者は、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。



禁止

- ・ 本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。
けがの原因になります。



必ず守る

- ・ 作業中は、風窓を地面に近づけないでください。
また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。
風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。
- ・ 風窓部に木屑などが詰まっていると故障の原因になります。
こまめに清掃してください。



必ず守る

- ・ 切断を行なう前にチェンブレーキの解除、ソーチェンの張り具合および、チェンオイルが出ているか確認してください。
- ・ チェンオイルが飛散しますので、作業に適した服装を着用してください。
- ・ 無理に押しつけたり、切断中にこじたりしますと機械各部の故障の原因になります。無理なく、まっすぐに切断してください。

使い方

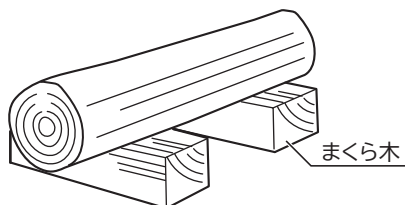
●切り方の基本

1. 切断材の下にまくら木を敷き、地面から出来るだけ離して固定してください。

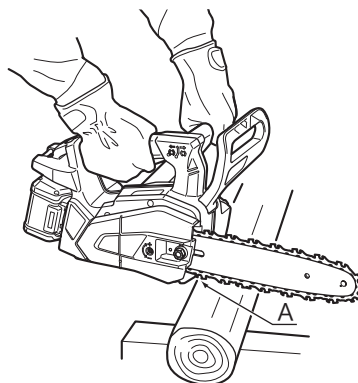


必ず守る

地面に近すぎますと、切断後地面にソーチェンが当たり、ソーチェンを傷付けたり、小石などをはね上げるだけでなく、チェンソー本体がはね返る（キックバック）こともあり危険です。



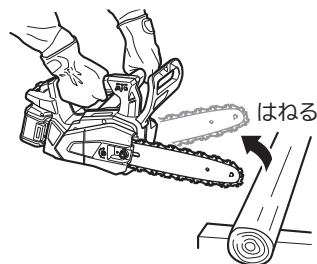
2. スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、ガイドバーのつけ根付近（右図 A 部分）を切断材に静かに当ててください。そのまま真下に軽く押して切断します。



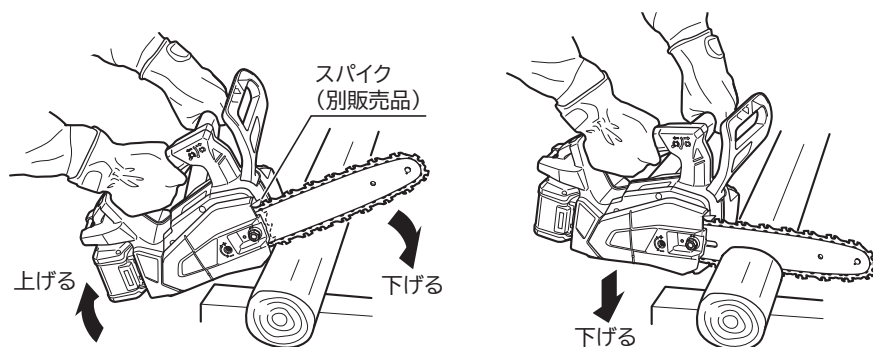
必ず守る

・ ガイドバーの先端部での先端切りは、本体がはね返り（キックバック）、安定した作業ができませんので危険です。必ずつけ根の部分で切断してください。

※ 無理に押し付けて切断すると、過負荷保護、温度保護により頻繁に保護回路が作動することがあります。
(45 ページ『■保護機能について』参照)



※ 別販売品のスパイクを使用して大きい材料を切断する場合は、スパイクを切断する材料に当て、スパイクを支点にテコ運動をしながら切断してください。



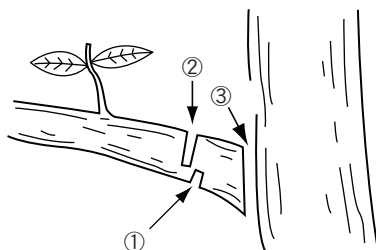
●枝落とし

⚠ 注意



落ちてくる枝から、安全に避難できるように注意してください。
小枝を切るときは、本体がはね返ることがありますので注意してください。

1. 太い枝は、まずつけ根から少し離れたところを切り落とします。
①下側から3分の1くらい切込み、②上側から切り落とします。
2. 最後に残りの部分を③つけ根から切落としてください。



使い方

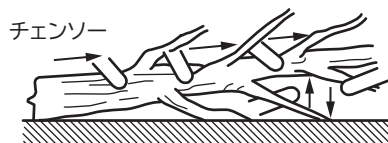
●枝払い作業

⚠ 注 意

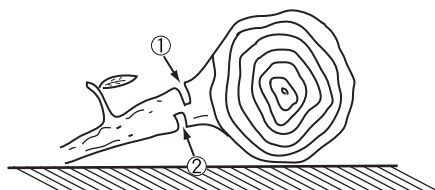


地面に当たっている枝は、丸太の重量を受けているので切るときにガイドバーを挟まないように注意してください。また、切り終わりに丸太がころがることもあるので注意してください。

1. 上部、側面の枝を一方向より切落とします。
2. 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切落とします。



3. 地面に接触している太い枝は、①上側から半分くらい切込み、②下側から切込み、枝を落とします。



●伐木作業（樹木を伐り倒す作業）

警告



点検・確認

伐木作業を行なうときは、木の倒れる方向に人や物がいないことを確認してから作業を行なってください。



必ず守る

伐木作業を行なうときは、必ず二人以上で作業を行なってください。



必ず守る

（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業、または高さが2m以上の箇所で墜落制止用器具フルハーネス型のものを用いて行なう作業を行なう場合は、規制で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令 労働安全衛生法
労働安全衛生規則
安全衛生特別教育規程

第59条第3項
第36条第8号及び第41条
第10条及び第24条

1. 伐り倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し、倒す方向、避難する方向を決めます。

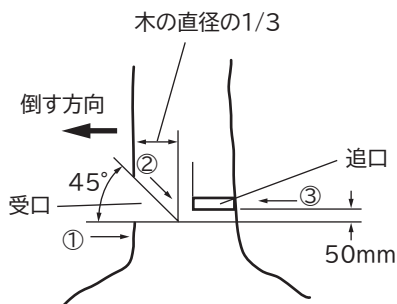
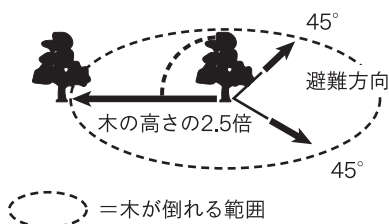
2. 伐り倒す木の周囲の障害物を取除き、足場の安全を確認します。伐り倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。

3. 図に示すように伐り倒す方向に直径の1/3程度の切込みを①、②の順に入れて受口を作ってください。

4. 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口③を切込んでください。

5. 追口の切込みが樹心を越えすと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切口よりチェーンを離し、その場にチェーンを置いて避難してください。

6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合やソーチェン、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正し、挟まれたソーチェン、ガイドバーを取除いてください。



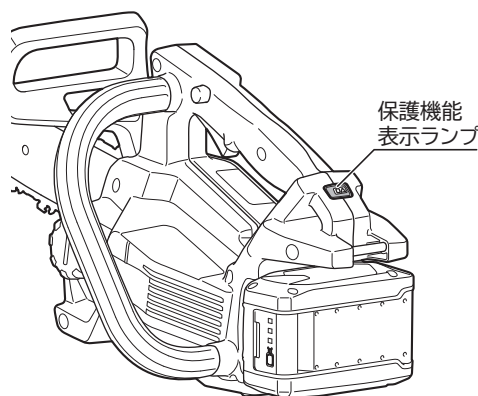
使い方

■保護機能について

- ・本機には保護機能（制御回路）を搭載していますので、使用中スイッチを入れた状態でもモーターが停止することがあります。

スイッチを入れることで保護機能表示ランプが点灯・点滅し、保護機能が働いたことを確認できますので、下表のランプ表示にあわせて対処してください。

※ ランプ表示は、30 秒間継続します。



ランプ表示	状 態	対処方法
点 灯 	本体が過負荷状態になったとき	スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、過負荷の原因を取除いてください
	チェンブレーキが作動しているとき	チェンブレーキを解除してください (37 ページ『●チェンブレーキの解除』参照)
点 滅 	本体、もしくは電池パックが高温になったとき	スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、本体もしくは電池パックを冷ましてください
	電池パック内部の温度が低すぎるとき	電池パックを本体から取外し、電池パックを常温の状態にしてください ※加熱はしないでください
短点滅  (0.1 秒 間隔)	電池パックに異常があるとき	スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、電池パックを交換してください 電池パックにつきましては、故障しているおそれがありますので、販売店にお問い合わせください



電池パックを抜いた後にスイッチを入れると、保護機能表示ランプが数秒間点滅することがありますが、異常ではありません。

保守と点検

警告



必ず守る



分解禁止

・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。けがの原因になります。

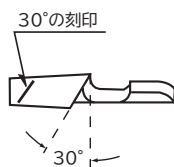
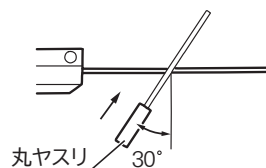
・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

■ソーチェンの目立て

・ 目立ては自分でできます。

別販売品の丸ヤスリまたはチェンソーシャープナーで左刃・右刃の角度に注意し、目立てをしてください。(右図)

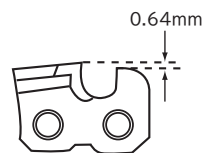
仕上げ角度は、下図のようにするのが理想的です。
30°の刻印を目安に目立てを行なってください。



上刃目立て角度



上刃切削角度



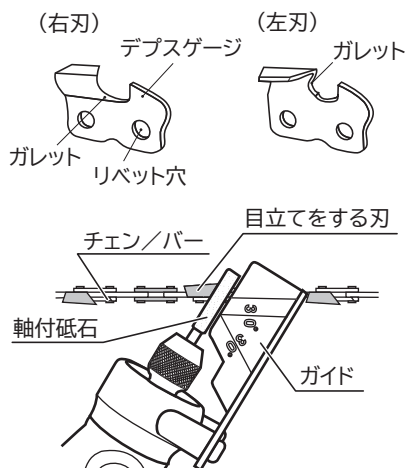
デプスゲージセッティング

(チェンソーシャープナー使用方法)

・ 目立てをするソーチェンの種類、条件を確認してください。

1. 軸付砥石を刃先のガレット部にはめこみます。
2. ガイドを目立てをする刃の上のせ、右図の 30° 刻印と軸付砥石が平行になるように位置合わせをします。

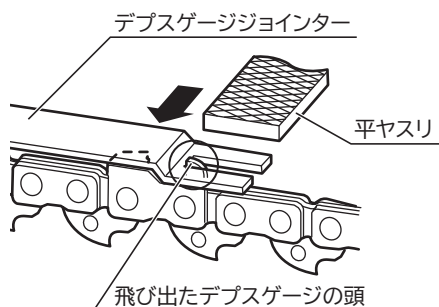
※ 詳しい使い方はチェンソーシャープナーの取扱説明書をお読みください。



保守と点検

(デプスゲージジョインター)

- ・デプスゲージジョインターをソーチェンの上にかぶせます。デプスゲージが高すぎる場合には溝からデプスゲージの頭が出ます。溝から出ている部分を平ヤスリで削り落とし、適切なデプスゲージ高さに調整します。



■ソーチェンの交換

⚠ 警告



必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。



よく読む

- ・ソーチェンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。



必ず守る

- ・ソーチェンは仕様に明記してあるタイプの純正品を使用してください。誤ったタイプを取付けるとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

⚠ 注意



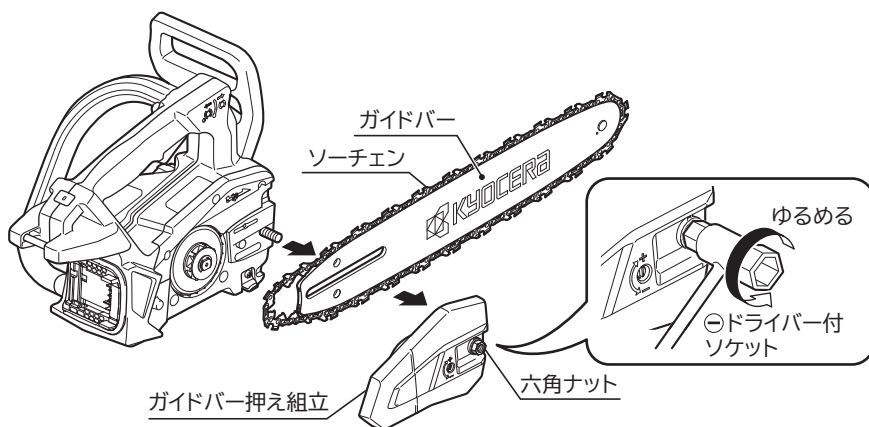
必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、必ず手袋を着用して行なってください。けがの原因になります。

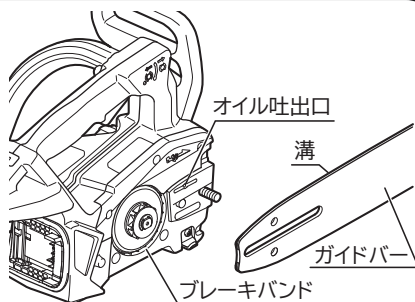
(ソーチェンの取外し)

- ・ ⊖ドライバー付ソケットで六角ナットを回してゆるめ、ガイドバー押え組立を取外した後、ガイドバーとソーチェンを取外します。

※ 六角ナットはガイドバー押え組立から外れないようになっています。



ソーチェンの交換の際には、オイル吐出口、ガイドバーの溝およびその周辺の切粉などを取除いてください。切粉などが溜まるとオイルが回らなくなり、故障の原因になります。また、ブレーキバンドを清掃してください。ゴミ、グリース、オイルなどが入り込むと、チェーンブレーキの作動が悪くなることがあります。



(ソーチェンの取付け)

調整方法は 26 ～ 28 ページ『●ガイドバー、ソーチェンの取付け 3. ～ 8.』を参照してください。



ソーチェンの刃の向きに注意してください。
逆に取付けると切断できません。

保守と点検

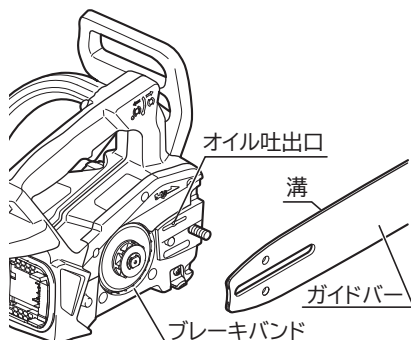
■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

●ガイドバー、ブレーキバンドの清掃

- ・ガイドバーの溝やオイル吐出口に切粉などがつまると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。また、ブレーキバンドにゴミ、グリース、オイルなどが入り込むとチェンブレイキが正常に作動しないことがあります。使用後およびソーチェンの交換時などには、ガイドバーを外し、溝などに入った切粉を除去してください。



●ソーチェンの給油

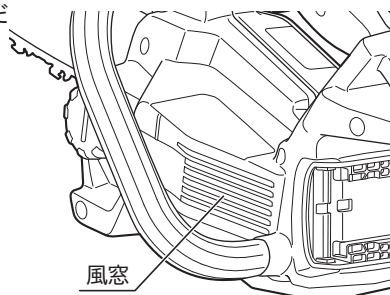
- ・使用後はサビ止めのため、ソーチェンを回転させ、チェンオイルを十分まわしておいてください。

●表面の汚れの清掃

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

●風窓部の清掃

- ・風窓部に詰まっている木屑などを取除いてください。



■作業後の保管

- ・ 作業後は、ソーチェンがむき出しにならないようにチェンカバーを取付けてください。
- ・ 使用後にソーチェン、ガイドバーに付着したチェンオイルや本体内部のチェンオイルが流れ落ちることがあります。
ビニールを敷くなどして周囲を汚さないように注意してください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、オイルキャップが下側にならないように本体を置いて保管してください。オイルキャップが下側を向いていた場合、オイルが漏れます。
- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- ・ 電池パックを長期間保管する場合は下記のことに注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. 0℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

■修理について

- ・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症状	原因	処置	参照 ページ
充電器	充電できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください	21
		電池パックが充電器に確実にさし込まれていますか	電池パックを奥まで確実にさし込んでください	21
		電池パックまたは充電器の充電端子が汚れていませんか	綿棒などで汚れをふき取ってください	—
		電池パックが高温になっていませんか	電池パックを十分冷ましてから充電してください	22
	充電開始後、3時間くらい経過しても充電完了ランプが点灯しない	電池寿命または電池パック、充電器の故障と考えられます	「充電器ランプ表示」の項目を確認してください。故障が考えられる場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください	22
本体	動かない 突然止まる 動きが悪い	電池パックが確実に取付てありますか	電池パックを取外して、工具の電池取付け部分に異物が混入していないか確認してください。また、電池パック端子部に汚れなどが付着していないか確認してください。電池パックは奥まで確実にさし込んでください	35
		電池残量がない	電池パックを充電してください	24
		過負荷状態になっていませんか	過負荷状態になるとモーター保護回路が働き、モーターが停止する場合があります。スイッチを切り、電池パックを取外してから過負荷の原因を取除いてください	45

	症状	原因	処置	参照 ページ
本 体	動かない 突然止まる 動きが悪い	本体または電池パックが高温になっていませんか	本体または電池パックが高温状態になると保護回路が働き、モーターが停止する場合があります。スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、本体または電池パックを冷ましてください	45
		チェンブレイキが作動していませんか	ブレイクレバーを解除してください	37
		ソーチェンの張りがきつくありませんか	ソーチェンの張り具合を確認し、きつい場合は、張りをゆるめてください	32～33
		ソーチェンからスプロケットが外れていませんか	ガイドバー押えを取外して、スプロケットにソーチェンのドライプリングをはめてください	25～28 47～48
		ガイドバー押え内に切粉が詰まっていますか ガイドバーの溝に切粉が詰まっていますか	ガイドバー押えを取外して、ガイドバー押え内を清掃してください ガイドバーの溝を清掃してください	49
	切れ味が悪い	ソーチェンが摩耗、刃こぼれしていませんか	ソーチェンの目立てを行なってください。 摩耗、刃こぼれがひどいときは、新しいソーチェンに交換してください	46～47 47～48
		ソーチェンの向きが逆になっていませんか	ソーチェンの向きを確認し、正しい向きに付け直してください	25～28 47～48
		ソーチェンの張りがゆるくなっていますか	ソーチェンの張りを確認して、ゆるい場合には張りを強くしてください	32～33

故障かなと思ったら

	症状	原因	処置	参照 ページ
本 体	ソーチェンが外れる	ソーチェンの張りがゆるくありませんか	ソーチェンの張り具合を確認し、ゆるい場合には張りを強くしてください	32～33
		ガイドバー押え組立の六角ナットの締め付けは十分ですか	ソーチェンの張りを調整した後は、六角ナットを十分に締付けてください	25～28
	チェンオイルが出ない	オイルタンク内のチェンオイルが少なくなっていますか	チェンオイルの残量を確認し、補充してください	36
		チェンオイル吐出口が詰まっていますか	ガイドバーを取外し、オイル吐出口を清掃してください	49
	電池パックが取付かない	指定以外の電池パックを取付けようとしていませんか	 タイプの電池パックを使用してください	23

※ これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	DCS3620T	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話 （ ）	
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
 - 純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

